

鳥類風切羽の総水銀含量について

板垣国昭・河村 章・數田行雄
遠藤隆二

獣医畜産新報, 第45卷5号, 355~357 (1992)

1987年から1991年の期間に採取した鳥類(カラス, ハト, カモ, ゴイサギ, キジ, コジュケイ, ヤマドリ, チャボ), 総数98検体の風切羽中の水銀を調査した.

調査した鳥類のうち, 食性が雑食性で低地平野部に生息するカラスの風切羽中の水銀含量が最も

高い値を示し, 草食性で高地に生息するヤマドリは最も低い値を示した. ヒトに身近な環境に生息するチャボは低い値であった.

鳥類の風切羽中の水銀を調査した結果, 人為的に排出された自然環境中の水銀は過去同様に依然として維持されていると考えられた.